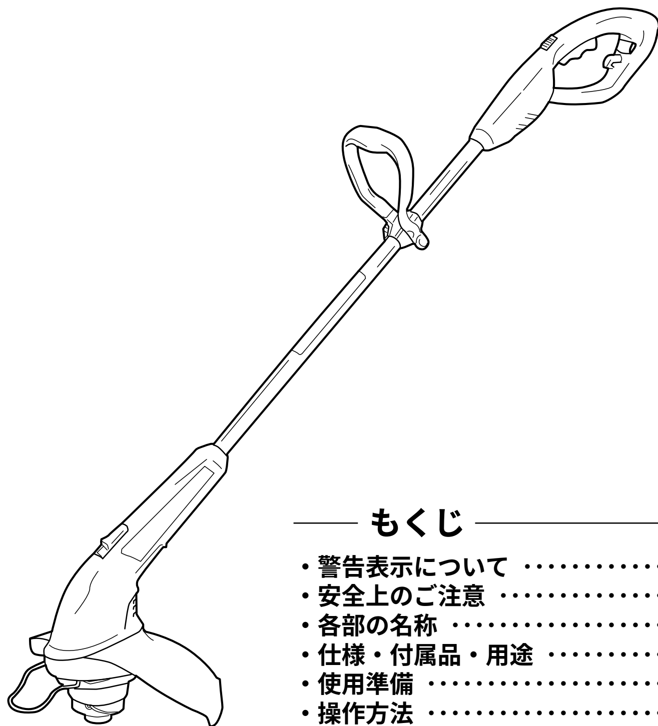
RYOBI

電気ライントリマ

AK-3700

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。
また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



もくじ

- 警告表示について ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 安全上のご注意 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2～7
- 各部の名称 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7
- 仕様・付属品・用途 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8
- 使用準備 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9
- 操作方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10～12
- 使用方法 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13～17
- 保守と点検 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 17
- 故障かなと思ったら ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 18



二重絶縁

6985153

このたびは、リョービ電気ライントリマをお買い上げいただきありがとうございます。
安全に能率よくお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。
使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

■警告表示について

●警告マーク

・本機、および取扱説明書に警告マークを表示しています。
　この警告マークの意味を十分ご理解のうえで使用してください。

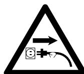

使用前に取扱説明書を最後まで必ずよく読むこと。


作業中は安全帽（ヘルメットなど）、保護めがね、耳栓などの保護具を着用すること。



作業中は半径15m以内に人や動物、ものなどを近づけないこと。


感電の恐れがあるので、雨中や湿った場所、またはぬれた場所で使用しないこと。


電源コードが損傷した場合は、電源プラグを抜き、新品に交換すること。

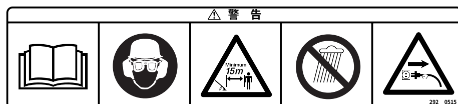
●警告ラベル

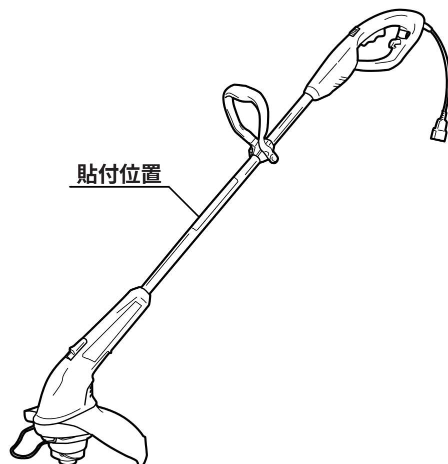
・本機に次の警告ラベルが貼付けてあります。警告ラベルの意味をよく理解したうえで作業してください。

（取扱い）

・警告ラベルについた汚れや泥を取り、表示内容がはっきりと見えるようにしてください。
・警告ラベルが損傷したりはがれた場合は、新しいラベルと交換してください。
・警告ラベルが貼ってある部品を交換したときは、必ず新しい部品の同じ場所に、同じ警告ラベルを貼ってください。

（貼付位置）





注意文の「⚠ 警告」、「⚠ 注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠ 警告」と「⚠ 注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠ 警告 ：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠ 注意 ：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

なお、⚠ 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

⚠ 警告・⚠ 注意 以外に製品の据付け、操作、メンテナンスなどに関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

■安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みのうえ、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。
- 他の人に貸出す場合は、いっしょに取扱説明書もお渡しください。

⚠ 警　告

安全作業のために：

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
   - ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
   - 電動工具は、雨ざらしにしたり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
   - 作業場は十分に明るくしてください。
   - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。



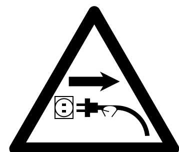
3. 感電に注意してください。
   - 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。（例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠）
4. 子供を近づけないでください。
   - 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
   - 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
   - 乾燥した場所で、子供の手の届かない安全な所、または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理して使用しないでください。
   - 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

⚠ 警　告

7. 作業に合った電動工具を使用してください。
   - 小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
   - 指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
   - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻込まれる恐れがあるので着用しないでください。
   - 屋外での作業の場合には､ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
   - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどで覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
   - 作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。



10. 防音保護具を着用してください。
    - 騒音の大きい作業では、耳栓、耳覆い（イヤマフ）などの防音保護具を着用してください。
11. 集じん装置が接続できるものは接続して使用してください。
    - 電動工具に集じん機などが接続できる場合は、これらの装置に確実に接続し、正しく使用してください。
12. コードを乱暴に扱わないでください。
    - コードを持って電動工具を運んだり､コードを引張って電源コンセントから抜かないでください。
    - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
13. 無理な姿勢で作業をしないでください。
    - 常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。
14. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
    - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
    - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
    - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
    - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
    - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリスなどが付かないようにしてください。



15. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
    - 使用しない、または修理する場合。
    - 刃物、砥石、ビットなどの付属品を交換する場合。
    - その他危険が予想される場合。
16. 調節キーやレンチなどは、必ず取外してください。
    - 電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチなどの工具類が取外してあることを確認してください。

17. 不意な始動は避けてください。
   ・電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。
   ・電源プラグを電源コンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
18. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
   ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコード、またはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。
19. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
   ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周囲の状況など十分注意して慎重に作業してください。
   ・常識を働かせてください。
   ・疲れている場合は、使用しないでください。
20. 損傷した部品がないか点検してください。
   ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
   ・可動部分の位置調整、および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
   ・破損した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。
   取扱説明書に指示されていない場合は、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
   スイッチが故障した場合は、お買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
   ・スイッチで始動、および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
21. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。
   ・この取扱説明書、およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがあるので使用しないでください。
22. 電動工具の修理は、専門店に依頼してください。
   ・この製品は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。
   ・修理は、必ずお買い上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお申しつけください。
   ・修理の知識や技術のない方が修理すると、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

この取扱説明書は、大切に保管してください。

騒音について

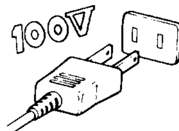
ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県などの条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

電気ライントリマご使用に際して

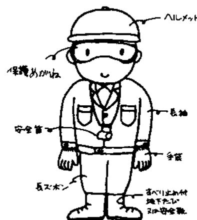
先に電動工具としての共通の警告、注意事項を述べましたが、電気ライントリマをご使用の際には、さらに次に述べる警告、注意事項を守ってください。

⚠ 警　告

1. 使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
   - 表示を超えた電圧で使用すると過負荷による発熱、火災の原因になります。



2. 本機の使用用途は芝生や柔らかい草の刈込みです。枝打ち作業などには、絶対に使用しないでください。
   - けがや事故の原因になります。
3. 刈込み作業には、次の服装、保護具を着用してください。
   - すそじまりのよい長そで、長ズボン。
   - ヘルメットなど、労働省検定規格に合格した保安帽。
   - 足元保護のための安全靴。
   - 保護めがねまたはフェイスガード。
   - 防振性の高い手袋。



4. 強風のとき、および夜間に使用しないでください。
   - 安全な作業ができないため、けがの原因になります。
5. 次のような人、または状況下では使用しないでください。安全な作業ができないため、けがの原因になります。
   - 子供には使わせないでください。
   - 妊娠中の人は使用しないでください。
   - 疲れているとき、病気のとき、酔っているときは使用しないでください。
   - 薬物の影響、その他の理由で、正常な運転ができない人は使用しないでください。
   - 機械の知識のない人や、他の人に機械を借りて作業をするときは、あらかじめ安全作業の指導を受けてから使用してください。また、本機を他の人に貸すときは、取扱説明書を必ず添付してください。
6. 各部のネジにゆるみがないか、損傷箇所がないか点検してください。
   - けがの原因になります。
7. ナイロンラインは、指定の柔軟性のある非金属のラインのみを使用してください。針金などは絶対に使用しないでください。
   - けがや事故の原因になります。
8. 飛散防護カバーは指定する位置に取付け、確実に固定しているか確認してください。
   - 刈くずや小石などが飛散し、けがの原因になります。
9. 小石、ガラス、くぎ、針金、ひもなどの異物を作業場から取除いてください。
   - ナイロンカッタに当たり、飛散して作業者や周囲の人がけがをする原因になります。
10. スイッチを入れるときは、ナイロンカッタが地面に触れないようにしてください。
    - スイッチを入れると同時にナイロンカッタが回転し、地面の小石などが跳ね飛ばされ、けがの原因になります。

11. ロックボタンを押した状態で固定しないでください。
- セフティ機構が働かず、けがの原因になります。

12. 連続作業は疲労のため、事故の原因になります。
- 1回の作業時間は30分以内とし、10～20分休憩してください。
（参考）国有林では、作業者の健康管理のため、次のような基準が設けられています。

作業は連続3日を限度として、

1回の連続作業時間	30分以内	1週の作業日数	5日以内
1日の作業時間	2時間以内	1ヶ月の作業時間	40時間以内

13. 作業中は、半径15m以内に人や動物、ものなどを近づけないでください。
ナイロンカッタが当たり、けがの原因になります。
- これらが接近したときは、直ちにスイッチを切り、ナイロンカッタの回転を止めてください。
- 同一作業場で、同時に作業するときは、15m以上の間隔を取り、監督者をおいてください。



14. 作業中は、ナイロンカッタ部分を腰より上にあげないでください。
- バランスを失い、けがの原因になります。

15. ナイロンカッタに草などが巻付いたときには、必ずスイッチを切り、電源プラグを抜いた後、ナイロンカッタの回転が停止したことを確認してから、草などを除去してください。
- 草などを取除いたはずみに、不意な始動によるけがの原因になります。

16. ナイロンカッタを使用している人に近づくときは、使用者から15m以上離れた位置で合図し、ナイロンカッタが停止したことを確認してから近づいてください。
- 不用意に近づくと、使用者が気づかず、事故の原因になります。

17. 誤って落としたりぶつけたりしたときは、ナイロンカッタや本体に亀裂、変形などがないか確認してください。
- 破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。

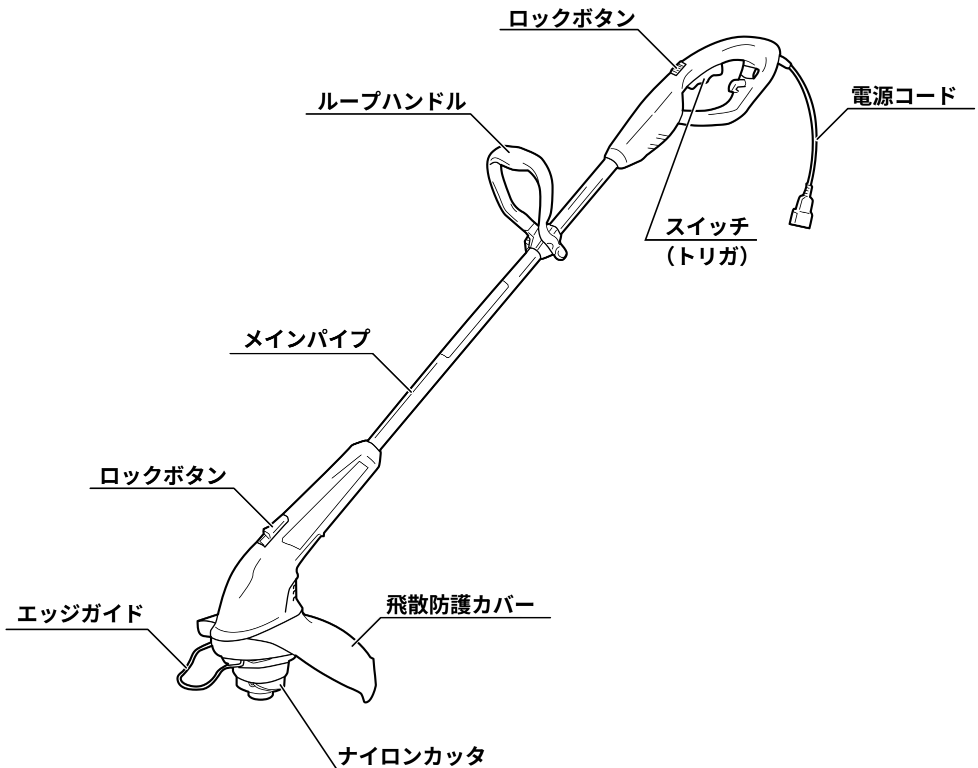
18. 使用中、機械の調子が悪かったり異常音がしたときは直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い上げの販売店またはリョービ販売営業所に点検修理を依頼してください。
- そのまま使用していると、けがの原因になります。

19. 作業を終えるときはスイッチを切り、ナイロンカッタの回転が停止したことを確認してから機械を降ろし、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。
- スイッチを切った後も、ナイロンカッタがしばらく回転することにより、けがの原因になります。

20. 回転しているナイロンカッタには絶対に手や足などを近づけないでください。
- けがの原因になります。

⚠ 注　意
1. 作業前に、ナイロンカッタに摩耗、亀裂、損傷がないか点検してください。また、作業中も時々点検してください。 ・ナイロンカッタの機能を果たさなくなります。 2. 作業中、モーター冷却風取込口が草などでふさがっていないか点検し、ふさがっている場合は取除いてください。 ・モーター焼損の原因になります。 3. 作業中は、ナイロンラインおよびナイロンカッタの底部が地面に接しないようにしてください。 ・地面の小石などがはね飛ばされ、けがの原因になります。

■各部の名称



■仕様

- 電源 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 単相・交流 100V 50/60 Hz
- 電流 ・・・ 3.8 A
- 消費電力 ・・・ 370 W
- 無負荷回転数 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ (n_0)11,000min^{-1}
- 刈幅（径）・・ 250mm
- 機体寸法（長さ×幅×高さ）・・・・・・・・・・（注1） 1,210 × 315 × 275mm
- コード・・ 0.3m
- 質量 ・・（注2） 1.9kg
- 絶縁方式 ・・・ 二重絶縁

（注1）メインパイプ最長のときは1,285mmです。

（注2）記載質量にはループハンドル、飛散防護カバー、コードは含まれていません。

■付属品

- 保護めがね・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 延長コード(10m) ・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 飛散防護カバー・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- エッジガイド ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- ループハンドルセット・・・・・・・・・・・・ 1
  - ループハンドル ・・・・・・・・・・ 1
  - ノブナット ・・・・・・・・・・・・・・・ 1
  - 角根丸頭ボルト ・・・・・・・・・・ 1

■用途

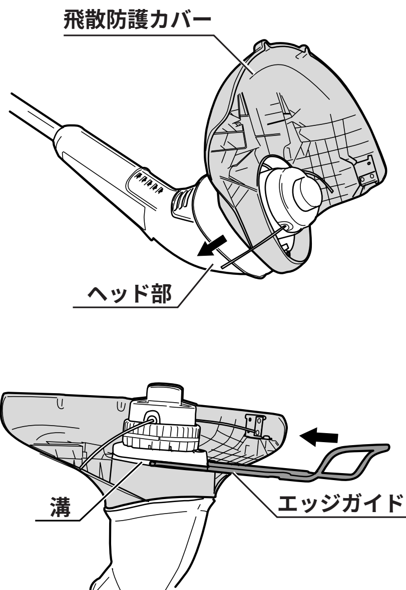
- 芝生、柔らかい草の刈込み作業、キワ刈り作業、フチ刈り作業

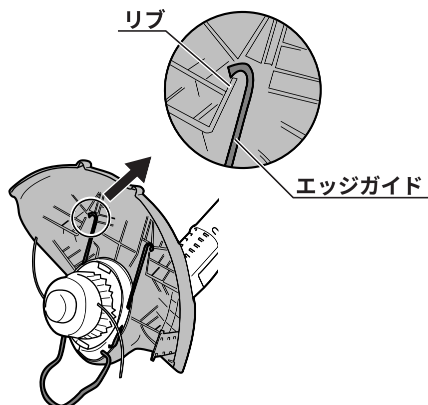
■使用準備

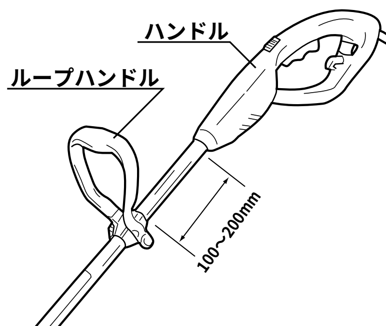
●飛散防護カバーの取付け

・ヘッド部に飛散防護カバーを取付けます。

・ヘッド部の溝に添わせてエッジガイドを挿入して飛散防護カバーを固定します。この時エッジガイド先端の曲がった部分が飛散防護カバーのリブ部分にはまっていることを確認してください。







●ループハンドルの取付け・調整

・使用の際は、ループハンドルを取付けて使用してください。

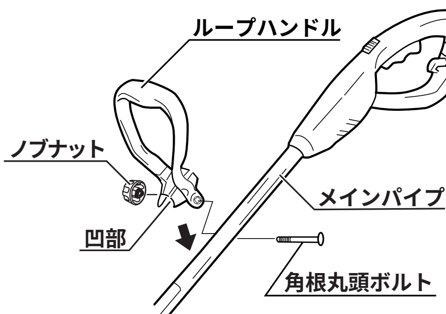
（取付け）

・ループハンドルの取付位置は、作業しやすい所に取付けてください。
（ハンドル端より100～200mmを目安とします。）

・本体のメインパイプにループハンドルの凹部をはめ込み、角根丸頭ボルト、ノブナットで締付けて固定します。

（位置調整）

・ノブナットをゆるめるとループハンドルが前後方向、回転方向に自由に動かせます。作業しやすい位置に調整して使用してください。調整後はノブナットをしっかりと締付け、ループハンドルを固定してください。

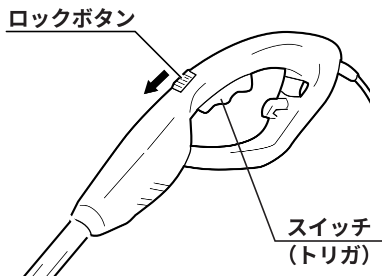


■操作方法

●スイッチの扱い方

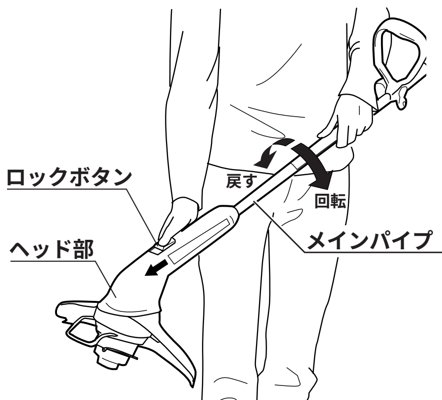
⚠ 警　告
・使用電源は、必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用しますと過負荷による発熱、火災の原因になります。 ・不意な始動は避けてください。本体が作動してけがの原因になります。 ・ロックボタンを押した状態で固定しないでください。セフティ機構が働かず、けがの原因になります。

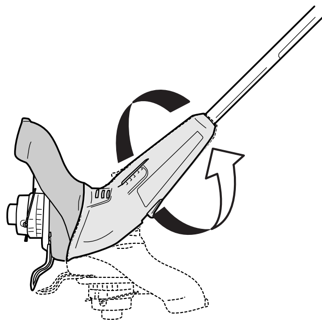
- 本機はセフティスイッチを採用しています。ロックボタンを押さなければスイッチは入りません。
- さし込みプラグを接続するときは、スイッチが切れていることを確認してください。
- スイッチ操作は、ロックボタンを矢印方向に押した状態でトリガを引けばスイッチは入ります。スイッチが入ればロックボタンを離しても回転します。
  切るときはトリガを離すだけでスイッチは切れます。



●ヘッドの回転

- フチ刈りをする場合はヘッドを回転させ、飛散防護カバーを上側にして使用します。
- ロックボタンを矢印方向に押した状態で、メインパイプを矢印（回転）方向に 180 ° 回転させます。
  元に戻す場合は、ロックボタンを矢印方向に押した状態で、メインパイプを矢印（戻る）方向に 180 ° 回転させます。

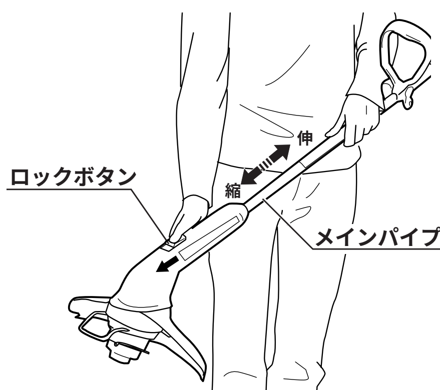




●メインパイプの伸縮

・作業姿勢に合わせてメインパイプを 0 ～ 75mm の範囲で 4 段階に伸縮することができます。作業しやすい位置に調整して使用してください。

・ロックボタンを矢印方向に押した状態で、メインパイプを伸縮します。

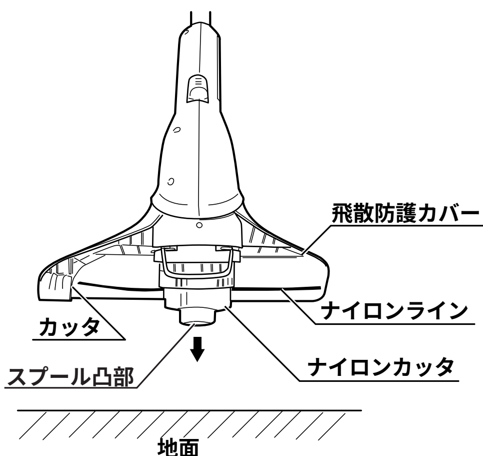


●ナイロンラインの引出し

・作業中、ナイロンラインが摩耗した時は、次の作業を行ないナイロンラインを引出してください。

1. トリガを引きナイロンカッタを回転させたまま、ナイロンカッタのスプール凸部を地面に弾ませるように、軽く叩き付けます。
2. ナイロンラインは叩いた回数に応じて自動的に繰出されます。長く出すぎた場合は、飛散防護カバーに付いているカッタでナイロンラインが切られ自動的に長さを調整します。

※ ナイロンラインが出ないときは、再度上記作業を繰返してください。それでも出ないときは、ナイロンラインがなくなっているか、根元から切れている場合があります。P12【●ナイロンカッタの交換】、P15【●ナイロンラインが根元から切れた場合】に基づき作業を行なってください。



（注）ナイロンラインの引出し作業をするときは、回転しているナイロンラインが地面に触れないようにしてください。

（注）切断されたナイロンラインが飛び散りますので注意してください。

（注）ナイロンカッタの底面をコンクリートや石などの硬いものに叩き付けないでください。ナイロンカッタの破損の原因になります。

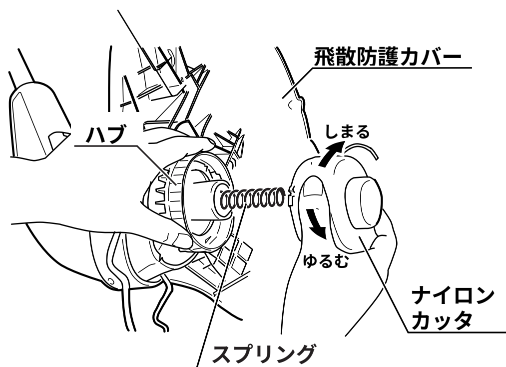
●ナイロンカッタの交換

⚠ 警　告
・ナイロンカッタの交換のときは、必ずスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いてください。接続したままですと、不意な始動によるけがの原因になります。

⚠ 注　意
・ナイロンカッタは取扱説明書に従って確実に取付けてください。確実でないと外れたり、けがの原因になります。

・ナイロンラインがなくなりましたら、新しいナイロンカッタと交換してください。
（注）リョービ純正品のナイロンカッタを使用してください。

1. ハブを保持して、ナイロンカッタを左に回して取外します。
2. ナイロンカッタを取外した後、ハブの内外を清掃します。
3. 新しいナイロンカッタをハブにセットします。この時、ナイロンカッタを押しながら右にカチッと音がするまで回し、ロックさせます。
（注）ナイロンカッタ内側のスプリングをなくさないように注意してください。

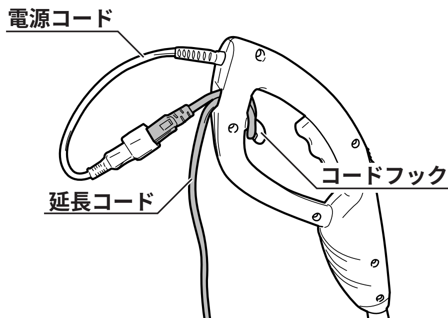


■使用方法

●電源コードの接続

⚠ 警　告
・電源コードを延長コードに接続する前にスイッチが切れていること、延長コードが電源コンセントに接続されていないことを確認してください。

・電源コードを延長コードに接続します。
この時、図のように延長コードをコードフックに通し､接続部が簡単に抜けないようにします。
・接続部を確実に接続してから､延長コードの電源プラグを電源コンセントにさし込んでください。



（注）市販品の延長コードを使用する場合は､機械の性能を十分に発揮させるため、できる限り太く、短い（30m 以内）工具用のキャブタイヤコードを使用してください。
長すぎる延長コードは電圧降下により、十分な性能が発揮されないだけでなく、モーター焼けの原因にもなります。
ドラム式の延長コードを使用する場合は、発熱などにより電圧降下や火災事故を防止するために、コードを全て引出した状態で使用してください。
（注）延長コードの太さによっては、コードフックが使用できないことがあります。

●刈込み作業

⚠ 警　告
・保護めがねを着用してください。刈屑などが目に入る恐れがあります。 ・使用中は､本体を確実に保持してください｡確実に保持しないと､けがの原因になります。 ・無理な姿勢で作業しないでください。常に足元をしっかりさせ、バランスを保つようにしてください。 ・使用中は､ナイロンラインに手や顔など近づけないでください｡けがの原因になります。万一、異物をかみ込んだときは、直ちにスイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いた後、異物を取除いてください。

⚠ 注　意
・炎天下での作業はできる限り避けてください｡炎天下で作業をされる場合には暑さ対策をし、体調に十分注意してください。 ・ナイロンカッタや付属品は、取扱説明書に従って、確実に取付けてください。確実でないと、外れたりけがの原因になります。 ・作業中は、ナイロンラインおよびナイロンカッタの底部が地面に触れないようにしてください。地面の小石などがはね飛ばされ、けがの原因になります。

（注）作業途中（休憩時など）に、機械を直射日光の当たる場所、高温になる場所に放置しないでください。モーターの冷却が十分に行なわれず、モーター焼けや機械故障の原因になります。

（注）モーターがロックしたり、回転が落ちるような使い方は、モーター焼けの原因になります。負荷をかけ過ぎないように使用してください。

（注）連続使用の場合、負荷をかけ過ぎた状態での使用を続けられますと、モーター焼けの原因になります。本体前部のヘッド部（モーター周辺）が熱くなるようでしたら、使用を中止して温度が下がるまで待ってください。

（注）ナイロンカッタ部に草などが巻付いた時は、そのままの状態で作業しないでください。モーターに過剰な負荷がかかり、モーター焼けの原因になります。

●基本的な作業



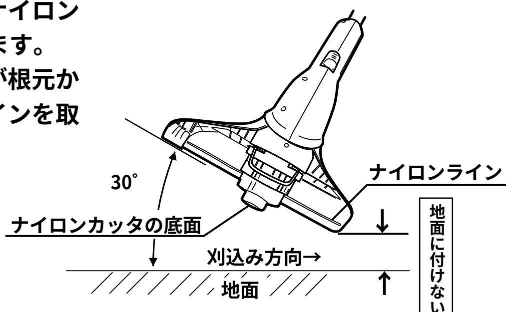
・ハンドルおよびループハンドルを両手でしっかり握り、片足を一歩踏込んで（ナイロンカッタの回転方向に合わせて）体重の移動が容易で安全な体勢を作ります。

・スイッチを入れ、ナイロンカッタの回転が十分上がってから刈込み作業を開始します。

・メインパイプだけを振回さず、腰の回転によって操作します。
ナイロンライン先端で草を刈るように作業すれば最も効率良く草刈りができます。
本機を作業者側から見て、左側に 30 ° 傾け、右から左に移動させながら刈込んでください。
刈屑が作業者側に飛ばず安全に作業ができます。

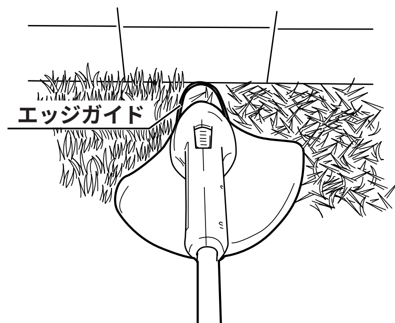
（注）ナイロンラインを草の中に押しつけて一度に多量の草を刈ろうとしてもうまく刈れません。モーターに過剰な負荷がかかり、機械故障の原因になります。

（注）硬い草、小石や縁石などにナイロンラインがあたると、ナイロンラインの減りが早くなります。この際は、ナイロンラインのスムーズな送出しが必要になります。また、ナイロンラインが根元から切れることがあります。
このときは、P15【●ナイロンラインが根元から切れた場合】の手順でナイロンラインを取出してください。



●エッジガイドの使用

・エッジガイドを壁または地面に当てながら作業することで、キワ刈り、フチ刈りが楽に行なえます。



（フチ刈り）

・フチ刈りをする場合は、ヘッド部を回転させ飛散防護カバーが地面に当たらないようにします。（P10【●ヘッドの回転】参照）
エッジガイドを地面に当て、縁石よりはみだしている芝を刈揃えることができます。



（キワ刈り）

・キワ刈りをする場合は、エッジガイドを壁などに当てて刈込み作業をすると、壁ギワまできれいに刈ることができます。

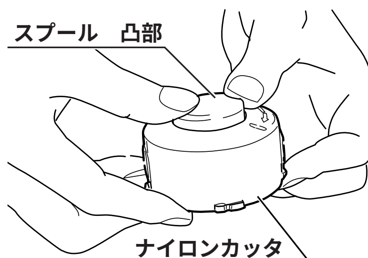


●ナイロンラインが根元から切れた場合

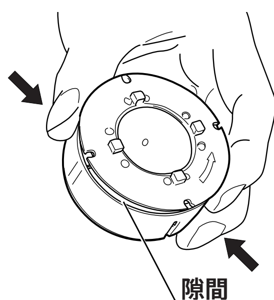
・ナイロンラインがケースの根元から切れた場合は、下記の要領で取出してください。

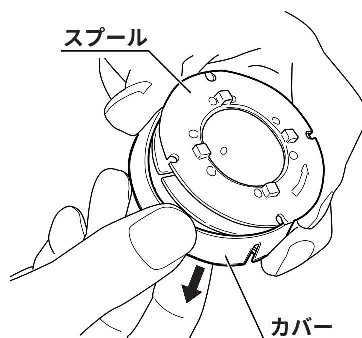
1. ナイロンカッタを本体より取外します。
（P12【●ナイロンカッタ交換】参照）

2. スプールの凸部を押してスプールをケースから取出します。

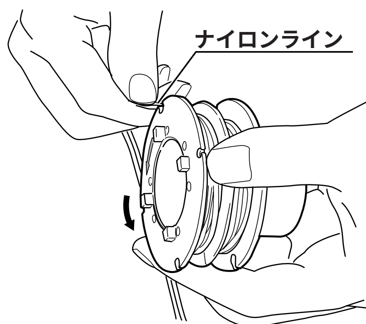


3. カバーをスプールより取外します。
このとき、下図のようにカバーを少し摘み、隙間を利用して取外します。

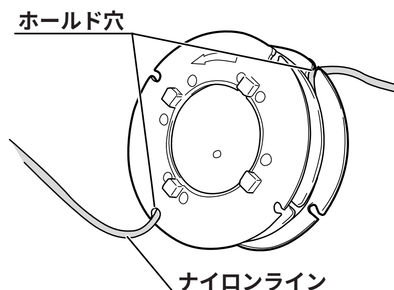




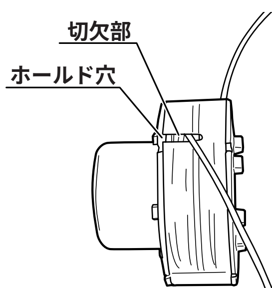
4. ナイロンラインがゆるんでいる場合は、スプールの矢印方向に巻き直します。

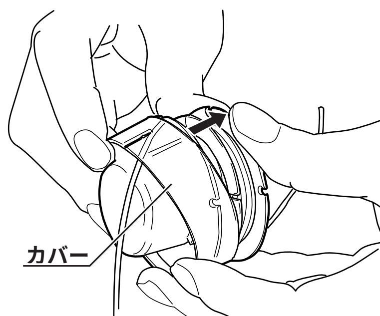


5. ナイロンラインの両端をスプールにあるホールド穴の対称位置に通します。

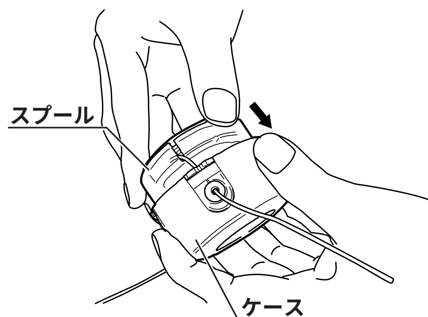


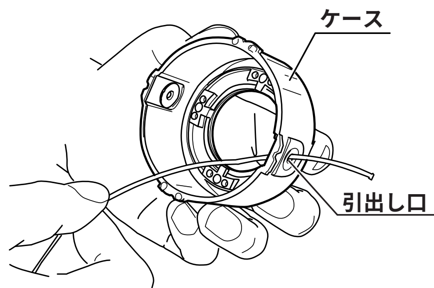
6. カバーをスプールに取付けます。
ナイロンラインを通したホールド穴とカバーの切欠部をあわせてください。





7. ナイロンラインの端をケースの引出し口に通し、スプールをケースにはめます。





8. ナイロンカッタを本体に取付けます。（P12【●ナイロンカッタ交換】参照）

■保守と点検

⚠ 警　告
・保守、点検、部品交換などのお手入れの前にスイッチを切り、電源プラグを必ず電源コンセントから抜いてください。けがや感電の原因になります。

●各部取付けネジの点検

・ネジなどのゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

●使用後の手入れ

・作業後は柔らかいブラシなどで、飛散防護カバーについた草や土を落としてください。
・油汚れなどをふき取り、使いやすい状態にしておいてください。乾いた布か石けん水をつけた布で本体をふいてください。
・ガソリン、シンナー、石油類での清掃は本体をいためます。また、水洗いは絶対にしないでください。

●作業後の保管

・高温にならない乾燥した場所に保管してください。お子さまの手の届く範囲や落下の恐れのあるところはさけてください。

●修理について

・本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買い上げの販売店にご用命ください。
その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

■故障かなと思ったら

・故障かなと思われましたら、次のチェックリストにそって点検を行なってください。

症状	原因	処置
スイッチを入れてもナイロンカッタが回らない。	電源プラグがコンセントから抜けていませんか。	きちんとつないでください。
	コードが途中で切れたり、断線していませんか。	延長コードを取替えてみるか、他の電気用品でお確かめください。
	ナイロンカッタに異物がはさまったり、詰まったりしていませんか。	必ず電源プラグを抜いてから、異物を取除いてください。
使用中に急に音が変わった。	ナイロンラインに異物がからまっていませんか。	必ず電源プラグを抜いてから、異物を取除いてください。
草が刈れない。	ナイロンラインが、摩耗していませんか。	ナイロンラインを引出してください。
	ナイロンラインがなくなっていませんか。	新しいナイロンカッタに取替えてください。

※これらのチェックを行なっても正常に作動しない場合は、お買い上げの販売店にご相談ください。

RYOBI

持込修理

電気ライントリマ　　保証書

リョービ電気ライントリマをお買い上げいただきましてありがとうございます。
本書はお買い上げ日から下記保証期間中に故障が発生した場合に、本書記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。
詳細は下記をご参照ください。

モデル名 AK-3700		製造番号
お客様	お名前	
	ご住所 〒 電話　（　　）	
お買い上げ日		保証期間（お買い上げ日より）
平成　年　月　日		1年
販売店	取扱販売店名・住所・電話番号 印	

レシート貼付

リョービ販売株式会社
〒468-8512
愛知県名古屋市天白区久方1-145-1
TEL.(052) 806 - 5111

リョービ株式会社

無料修理規定

1.取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
（イ）無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店に商品と本保証書をご持参ご提示いただき、お申し付けください。
2.ご転居、贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼になれない場合には、リョービ販売営業所にお問い合わせください。
3. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
（イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障または損傷。
（ロ）お買い上げ後の落下、引越し、輸送等による故障または損傷。
（ハ）業務用およびそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷。
（ニ）本書のご提示がない場合。
（ホ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入または、お買い上げ年月日、販売店名を証する物（レシートなど）の添付のない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
（へ）付属品、別販売品や消耗品類の場合。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。
(This warranty is valid only for Japan.)
5. 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保存してください。

■修理メモ

●この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買い上げの販売店にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観などを変更することがあります。

RYOBI
発売元
リョービ販売株式会社
本社　〒468-8512
名古屋市天白区久方1-145-1
TEL.(052)806−5111　FAX.(052)806−5141